

2018年度（平成30年度）大学院入試

# 数学問題 A

実施日時

2017年（平成29年）8月23日（水）

9:00～12:00

- 監督者の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
- 問題冊子は表紙も入れて5枚、問題は全部で4問である。
- 解答は、問題ごとに別々の答案用紙1枚に記入すること。  
答案用紙の裏面に記入してもよい。
- それぞれの答案用紙に 受験番号、氏名、問題番号を記入すること。
- 答案用紙、下書き用紙は終了後すべて提出し、持ち帰ってはならない。

[ 1 ]  $X, Y$  を位相空間,  $f: X \rightarrow Y$  を連続写像とする. 以下の主張について, 真である場合には証明を与え, 偽である場合には反例を挙げよ.

- (1)  $X$  が連結であれば, 像  $f(X)$  も連結である.
- (2)  $X$  がハウスドルフであれば, 像  $f(X)$  もハウスドルフである.
- (3)  $X$  がコンパクトであれば, 像  $f(X)$  もコンパクトである.

[ 2 ]  $n$  を正の整数,  $V$  を  $n$  次元複素ベクトル空間とする.

- (1)  $d$  を正の整数,  $f$  を  $V$  から  $V$  への線形写像とする.  $f$  の  $(d-1)$  回合成写像  $f^{d-1} = \overbrace{f \circ \dots \circ f}^{d-1}$  が零写像でなく  $f$  の  $d$  回合成写像  $f^d = \overbrace{f \circ \dots \circ f}^d$  が零写像となるならば,  $d \leq n$  であることを示せ. ただし,  $f^0$  は恒等写像とする.
- (2)  $f$  を  $V$  から  $V$  への線形写像とし,  $f$  の像と核をそれぞれ  $\text{Im}(f)$  および  $\text{Ker}(f)$  であらわす.  $f^2 = f$  ならば  $\text{Im}(f) \cap \text{Ker}(f) = \{0\}$  を示せ. ただし,  $0$  は  $V$  の零ベクトルとする.
- (3) 複素ベクトル空間  $W$  の次元を  $\dim_{\mathbb{C}}(W)$  であらわす. 集合

$$A = \{ \dim_{\mathbb{C}}(\text{Im}(f) \cap \text{Ker}(f)) \mid f \text{ は } V \text{ から } V \text{ への線形写像} \}$$

の最大元, つまり  $A$  に属する最大の非負整数, を求めよ.

[ 3 ]  $p$  を実数とする.  $\mathbb{R}$  上の関数

$$f_n(x) = n^p x - n^{p+1} \sin \frac{x}{n} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

および, 第  $n$  項が関数  $f_n(x)$  であるような級数

$$\sum_{n=1}^{\infty} f_n(x) = f_1(x) + f_2(x) + \dots + f_n(x) + \dots$$

について考える. 以下を示せ.

- (1)  $p < 2$  ならば, すべての  $x \in \mathbb{R}$  に対して  $\lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) = 0$  である.
- (2)  $p < 1$  ならば,  $\sum_{n=1}^{\infty} f_n(x)$  は任意の有界閉区間上で一様収束する.
- (3) 関数列  $\{f_1(x), f_2(x), \dots, f_n(x), \dots\}$  は  $\mathbb{R}$  上で一様収束しない. ただし, 必要ならば  $p$  の値に応じて場合分けして証明すること.

[ 4 ]  $i$  を虚数単位とする. 複素関数  $f$  を

$$f(z) = \frac{e^{iz}}{e^z - e^{-z}}$$

によって定める.

- (1)  $z = 0$  および  $z = i\pi$  における  $f(z)$  の留数をそれぞれ求めよ.
- (2)  $R$  を正の実数とする. 複素平面上の積分路

$$\Gamma_R^+ : z = R + it \quad (0 \leq t \leq \pi), \quad \Gamma_R^- : z = -R + it \quad (0 \leq t \leq \pi)$$

に対して

$$\lim_{R \rightarrow +\infty} \int_{\Gamma_R^+} f(z) dz = 0, \quad \lim_{R \rightarrow +\infty} \int_{\Gamma_R^-} f(z) dz = 0$$

を示せ.

- (3)  $\int_0^{\infty} \frac{\sin x}{e^x - e^{-x}} dx$  の値を求めよ.